

公民科（政治・経済）シラバス

政経	単位数	2単位	学科	普通	学年	第2学年
----	-----	-----	----	----	----	------

1 学習の到達目標

学習の到達目標	<p>1. 身の回りでおきている諸事象を、身につけた知識で論理的に説明できるようになる。</p> <p>2. 現代の政治、経済、国際関係などについて、様々な観点から考察し、それに対する自分なりの意見を持てるようになる。</p> <p>3. 近い将来の有権者として、投票の際の基準となる基礎的知識を習得し、公正な判断力を養う。</p>
使用教科書・副教材等	東京書籍「政治・経済」、とうほう「政治・経済資料2018」、とうほうニューコンパスノート政治経済

2 学習指導計画及び評価方法等

学期	月	学習内容 (教科書の構成)	学習のねらい	備考(学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習時間・特別活動等との関連等)	考査	評価の観点のポイント			
						関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用	知識・理解
前期	4	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原則と日本国憲法 1 民主政治の基本原則	・民主主義の成り立ちを歴史的観点、比較政治的観点から理解する。	・日本と主な国の政治制度について、各媒体等を利用して比較させる。	前期中間考査	・民主政治の基本原則について、意欲的に追究している。	・主な政治制度について、多面的・多角的に考察している。	・資料収集について、様々な工夫をしている。	・民主政治の基本原則を理解している。
	5	2 日本国憲法の基本原則	・日本国憲法の普遍性や国民主権、人権の尊重、平和主義について、特長と問題点を捉える。	・日本国憲法の基本原則について、各自で課題を出し、検討する。		・日本国憲法の基本原則について、課題を出し、検討している。	・日本国憲法の諸問題について、多角的に考察している。	・資料収集において、メディアを適切に使っている。	・基本的な事項を理解している。
	6	3 日本の政治制度と運営	・選挙制度や政党の現状を理解し諸制度の課題について、考える。	・日本の政治制度について、各国と比較しながら理解する。		・日本の政治制度と運営について、課題を見出している。	・日本の政治のしくみについて、課題を見出している。	・日本の政治制度について、様々な資料を活用している。	・基本的な事項を理解している。
	7	4 現代政治の特質	・現代政治の特質をふまえて、課題について、理解する。	・資料や統計を利用して、現状や問題点を理解する。	前期期末考査	・現代政治の特質に関心を持っている。	・各種報道について、考察している。	・各種項目の資料収集に努めている。	・基本的な事項を理解している。
	8	第2章 現代の国際政治 1 国際政治と国際法	・国際政治の特長と戦後国際政治の経緯、国際連合の機能を考える。	・具体例をあげて国際政治の特徴を考える。		・国際政治と国際法を客観的に考えている。	・国際紛争の要因を考察している。	・各種メディアから資料の収集をしている。	・国際政治の特質や国際連合の役割などを理解している。
	9	2 国際連合と国際機関	・国際連合の理念と機構について、理解させる。	・日本の役割を国際貢献の立場から考えさせる。		・国際連合の活動に関心を持っている。	・国際連合での日本の役割を考察できる。	・情報を適切に活用している。	・基本的な事項を理解している。
		3 国際政治の動向	・国際政治の動向について、理解させる。	・現状の世界の動きについて、メディアを利用して興味・関心付ける。		・国際政治の動向に関心を持っている。	・国際政治の動向に課題を見出している。	・様々な資料から幅広く理解している。	・国際政治の動向について、課題と対策も含めて理解している。

後期	10	第2編現代の経済 第1章 経済社会の変容と現代経済のしくみ 1 経済社会の発展	・現代経済のしくみについて、基礎にマクロ的な視点から資本主義経済のあり方について理解する。	・現代資本主義経済の特質にあげられた事項について、各種メディアを通じて具体例を調べる。	後期中間 考査	・経済の発達の移り変わりについて、関心をもっている。	・資本主義経済と社会主義経済等について、国際比較を行っている。	・資料を適切に使っている。	・資本主義の移り変わりや現代資本主義の特質について、理解している。	
		2 市場経済の機能と限界	・需給関係を中心に経済が成り立つことを理解する。	・経済の機能と問題点について、具体例を調べる。		・経済のしくみについて関心をもっている。	・現代の日本経済の課題を見出している。	・現代の日本経済に関する情報収集を行っている。	・現代経済のしくみについて、理解している。	
	11	3 国民経済の構造と循環	・GDPとはどのような概念・尺度なのかを理解する。	・図を活用して説明する。		・GDPについて、関心をもっている。	・GDPの背景を考えられる。	・GDPのデータから特徴を捉えられる。	・GDPについて、理解している。	
		4 景気変動と財政・金融	・現代の金融、財政のしくみと課題について考える。	・新聞記事等の資料を使って、生きた経済の実態にふれさせる。		・経済活動について、客観的に考えている。	・経済活動と国民福祉の関連について、公正に判断している。	・各問題についての資料を適切に説明している。	・現代の金融、財政のしくみと課題を理解している。	
		5 日本経済の発展と現状	・戦後の日本経済の流れを学び、日本の諸課題を理解する。	・日本経済の発展と現状について身近な具定例を出して理解させる。		・戦後の日本経済の移り変わりについて関心をもっている。	・現代日本経済の諸分野の課題を考察している。	・情報を主体的に選択して活用している。	・戦後の日本経済の移り変わりを踏まえて、経済の諸問題を理解している。	
	12	第2章 世界経済と日本 1 グローバル化する世界経済	・世界経済のグローバル化を理解する。	・グローバル化する世界経済とは何かについて考えさせる。	後期期末 考査	・グローバル化する世界経済について、関心をもっている。	・グローバル化する世界経済について、考察している。	・資料を適切に使っている。	・グローバル化する世界経済について、理解している。	
	1	2 貿易と国際収支	・国際経済の仕組みを理解し、その中で日本がどのような役割を果たしているか考える。	・新聞記事等を利用して日本と外国との経済関係や企業の海外進出などマクロとミクロの視点を理解させる。		・貿易と国際収支について関心をもっている。	・国際経済の動向から課題を見出している。	・資料を適切に使っている。	・国際経済の動向と課題、日本が果たすべき役割などを理解している。	
	2~3	3 世界経済の現状と国際協力	・国際経済機関の種類とその目的・役割について理解させる。	・最近のニュースを使って、興味・関心を持たせる。		・国際協力について、関心をもっている。	・諸問題について自身の観点をもっている。	・日本の役割を資料を活用しながら説明できる。	・世界経済の現状と国際協力について理解している。	
	<p>評価方法 : 前・後期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 考査、発言の様子、グループ活動の様子、課題の提出状況による総合評価。 ・ 評価は、社会的事象への関心・意欲・態度、思考・判断・表現、資料活用の技能、知識・理解の観点別に行う。なお、「知識・理解」については考査評価から、「意欲・関心・態度」については授業での様子や発問に対する返答等から行い、「資料・活用の技能」、「思考・判断・表現」は小テストや授業での様子から評価する。 									